

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	ワクチン産業発展推進ファンド			担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始年度	平成29年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	健康課	健康課長 正林 督章			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	予防接種法第23条第2項			関係する計画、 通知等	-				
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	基礎研究の成果を新規ワクチン開発に早くつなげていくため、また、産学がより連携して取り組むことが可能となるよう、実用化に近い動物試験や初期段階の臨床試験などに対して助成を行うための、ファンドを創設するもの。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	グローバルな感染症への対策や国際貢献の観点から、新規ワクチンへのニーズは高まっており、産業としても成長の期待される分野である。日本のワクチン・免疫分野の基礎研究力は世界的にも評価が高い一方で、基礎研究の成果を製品化につなげるための制度・財政面の支援が乏しく、新規ワクチンの上市に繋がっていないという課題が指摘されてきた。このような背景を踏まえ、基礎研究の成果を新規ワクチン開発に早くつなげていくため、また、産学がより連携して取り組むことが可能となるよう、実用化に近い動物試験や初期段階の臨床試験などに対して助成を行うための、ファンドを創設するもの。								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	4,000		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		0	0	0	0	4,000		
	執行額		-	-	-	-	-		
執行率 (%)		-	-	-	-	-			
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	WHOのPrequalificationの取得数	WHOのPrequalificationの取得数	成果実績	件	-	-	-	-	-
			目標値	件	-	-	-	-	10
			達成度	%	-	-	-	-	-
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	WHOのPrequalification取得に係る交付額	活動実績	円	-	-	-	-		
		当初見込み	円	-	-	-	-		
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	前臨床試験及び第1相試験の実施に係る交付額	活動実績	円	-	-	-	-		
		当初見込み	円	-	-	-	-		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	交付額(X)/WHOのPrequalification取得数(Y)	単位当たり コスト	円/件	-	-	-	-		
単位当たり コスト	交付額(X)/前臨床試験または第1相試験の実施数(Y)	計算式	X/Y	-	-	-	-		
		計算式	X/Y	-	-	-	-		

平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由
	ワクチン開発事業交付金	-	4,000	「新しい日本のための優先課題推進枠」4000
計	0	4,000		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	I-5 感染症など健康を脅かす疾病を予防・防止するとともに、感染者等に必要な医療等を確保すること							
	施策	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標年度 -年度
		実績値	-	-	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	-
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
新規ワクチン開発の促進や、より円滑な産学の連携など、日本のワクチンや免疫分野の産業の成長に寄与する。									

改革項目 経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	分野:	-	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	-
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	-
	本事業の成果と改革項目・KPIとの関係								
	-								

事業所管部局による点検・改善

項目	評価	評価に関する説明
事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	予防接種法に基づく予防接種の研究開発の推進のための事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業であるため、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。
地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	予防接種法に基づく予防接種の研究開発の推進のための事業であり、国の関与のもと、適確に実施すべき事業である。
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	予防接種法に基づく予防接種の研究開発の推進のための事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
事業の有効性	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	予防接種法に基づく予防接種の研究開発の推進のための事業であり、新規ワクチン開発等に係る真に必要な経費に限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-	-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
	-	-	-		
	-	-	-		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	-			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-

